



東金市民憲章

わたくしたち東金市民は

1. 郷土を愛し、環境をととのえ、住みよいまちをつくりましょう。
1. 互いにいたわり、笑顔を忘れず、心ふれあうまちをつくりましょう。
1. からだをきたえ、誇りをもって働き、豊かなまちをつくりましょう。
1. きまりを守り、力をあわせて、明るいまちをつくりましょう。
1. 歴史を尊び、教養を深め、香り高い文化のまちをつくりましょう。

目次(主な内容)

ページ	内容
2	特集 話し合いの場 みんなの手で支え合いの地域づくり
4	ホットほっとニュース

ピックアップ情報

- 8 保険証は発行されなくなります
- 9 使用済みプラスチックを回収
- 10 年末年始イベント特集
- 13 東金市人事行政の運営状況
- 14 年末年始のごみ収集日程

とうがねインフォメーション

- 15 各種情報／子育て・保健・相談 ガイド
- 24 街かどアイドル／おいしいレシピ

記事の見方

- ・市外局番の記載がないものは0475です
- ・ID番号がある記事は、ID検索できます

手順①市ホームページ(<https://www.city.togane.chiba.jp>)
 ②検索窓の近くから「ID検索」で番号を入力



市役所窓口

【開庁時間】月～金曜日(祝休日、12月29日～1月3日を除く)
 午前8時30分～午後5時15分
 ※休日窓口や市の施設の休館日は15ページに掲載。

人口と世帯

人口／56,675人(+15) 世帯／28,064世帯(+60)
 男性／28,436人(+36) 女性／28,239人(-21)

※令和6年11月1日現在()は前月比



みんなの手で支え合いの地域づくり

支え合いの地域づくりを推進しています
 HP ID 12583

ライフスタイルや家族のあり方が多様化する現在。地域での付き合い方は、ここ数年で大きく変わり、地域活動の担い手の確保も喫緊の課題の一つです。

そのような中で今、各地域において、支え合いの地域づくりの芽が生まれています。その芽とは、「話し合いの場」です。

みんなで自分の地域のことを真剣に話し合う場が「つくりたい」「みんなの声を聞いてみよう」「こんな取り組みをしてみよう」など話し合いの中から、新しい絆やサービスが生まれています。

あなたの地域にも話し合いの場があるかもしれません。私たちは、これを協議体と呼んでいます。ぜひどんな地域づくりをしているか、のぞいてみてください。

問 高齢者支援課 ☎(50)1165

とうがねし 支え合いの ちい木

※「ちい木」とは：土地に根を張り、幹を太くして枝葉を広げ、花を咲かせる「木のような地域」にしたい、という思いから付けられた名前です。

第1層協議体は、「東金市介護予防・生活支援サービス協議体」という名称で、平成28年度に設置

第1層協議体の取り組み

協議体は、市全域の地域課題について話し合う「第1層協議体」と、それより小さい日常生活の範囲で、自分たちの住んでいる地域のことについて話し合う「第2層協議体」の2つがあります。

CHECK
協議体とは…

地域の課題を「わがこと」として捉え、どうしたら課題を解決できるか話し合うための場（＝協議体）の設置を進めています。
この協議体では、地域住民はもちろん、地域内にある団体、社会福祉法人なども集まり、自分たちの地域の課題は何か、どうしたら良くなるかを話し合っています。

支え合いの地域づくり

そんな思いをかなえる場所をつくっています



されました。

「考えよう、話し合おう、育てよう支え合いのちい木」をスロガンに掲げ、市内の関係団体や社会福祉法人などのさまざまな方が、市全域の地域課題について、協議を行っています。

第2層協議体の設置

生活支援コーディネーターが各地区に足を運び、支え合いの地域づくりについての啓発活動や第2層協議体の設置・運営の支援を行っています。

市内ではすでに6地区において第2層協議体が設置されています。地域における課題は、地域によりさまざまです。そのため、解決に向けた話し合いや取り組みもさまざまなアプローチで行われています。

Pick up

情報誌の編集を通して皆で話し合い



大和地区支え合い協議会

スマホ講座
学生から教わりました



公平地区
たすけあい
協議会

将来に向けて
協議会を設立



丘山地区支え合い協議会

地区の活動風景

ここ来ると
元気になります



正気地区介護予防・生活支援サービス推進委員会

生活支援の
有償ボランティア
として活動



れいなんスマイル・サポート

地区のみんなで
意見を共有しました



源地区共に支えあう
まちづくり推進協議会

生活支援コーディネーターって？



支え合いの地域づくりを進めていくためには、地域の方々の参加が不可欠です。しかし、地域だけで考えると、「どうやって進めていけばいいんだろう?」「何からしたらいいんだろう?」と、分からないことが多く、なかなか前に進まないこともあります。そこで、「生活支援コーディネーター」という地域の支え合い推進員が話し合いのきっかけを作ったり、情報提供を行うなどの支援を行い、支え合いの地域づくりを進めています。